

## 第一回 $\pi$ 造形若手会に参加して

名古屋大学忍久保研究室 伊藤 覚

### 略歴

2007年名古屋大学工学部化学・生物工学科卒業

2011年名古屋大学工学研究科化学・生物工学専攻修了

趣味：読書、映画鑑賞、料理



11月21-22日に熱海で開催された $\pi$ 造形若手研究会へA01( $\pi$ 分子造形)班から参加しました。この若手会の大元である新学術領域 $\pi$ 造形科学はA01( $\pi$ 分子造形)班、A02( $\pi$ 造形システム)班、A03( $\pi$ 造形理論・計測)班の3分野が連携して研究を推進していく新領域です。私が普段行く学会ではあまり出会う機会の無い方々と議論できるということで楽しみにしていました。

会場に着くとまず会の趣旨説明があり、その中で「機能美・構造美」というキーワードが出てきました。これは私が学部4年生の研究室選択で迷っているときに指導教官である忍久保先生がおっしゃった「シンプルで美しい分子を造りたい、美しい分子には機能が伴う」という言葉を思い出させました。この言葉に惹かれて現在の研究室に入った私にとっては重要なコンセプトであり、大変共感しました。講演では様々な専門分野の方々が集まっていることもあって、丁寧なイントロの発表が多く他分野の私にも大変分かり易かりやすいものでした。質疑応答においては皆積極的で、専門でない分野への造詣も深く鋭い質問に感心させられました。2日目の朝の講演で私が座長を務めさせて頂いたときも、朝一番にもかかわらず多数の質問が出され、質疑応答も円滑に進行できました。スタッフの方々の講演では研究成果だけでなく研究者としての今までの歩みや考えなどをざっくばらんにお話しいただき、将来の参考になりました。また、懇親会では学生同士で自分たちの研究の面白さについて語り合い、議論が尽きませんでした。違う分野の視点から見ると、考えもしなかったアイデアが飛び出し自分の研究を別の角度から見つめ直す良いキッカケとなり非常に有意義な時間を過ごすことができました。特に今回の会で私が一番印象に残ったことは参加した他の学生たちの他分野への積極性です。他にも見習うべきところが沢山あり、良い刺激になった今回の若手研究会でした。来年も是非参加したいと思います。